

府民の森ほしだ園地探鳥会 (毎月第4土曜日両園地通算第285回)

令和7(2025)年1月25日(土)9:30~14:30頃

日本野鳥の会大阪支部

友田武・神戸徹・近藤輝男・沖光二・新名泰博・吉山 晃・平 軍二 (090-6901-1425)

ほしだ・くろんどの両園地探鳥会は2000年1月にスタートしましたので満25年になりました。この間、地元交野野鳥の会のリーダーの方々にご協力いただき、続けることができました。

今月より新名泰博様・吉山 晃様に担当リーダーをお願いしましたので、よろしくお願いします。

I 交野の鳥シリーズ(132)ケアシノスリ

交野野鳥の会河村 壽氏は、ほしだ園地でハヤブサの営巣・子育てを毎日のように観察され、交野野鳥の会メンバーリングリストに報告していただいています。今年1月に入って**ケアシノスリ**が**1/8、1/12、1/13、1/18**と4回も観察されており、しかも1/18は2羽いたとのこと。ケアシノスリは冬鳥として、草原で稀に観察されている冬鳥なので、山地にあるほしだ園地で、ハヤブサと同一頻度で観察されることは、貴重な観察記録になると思われたので、紹介します。



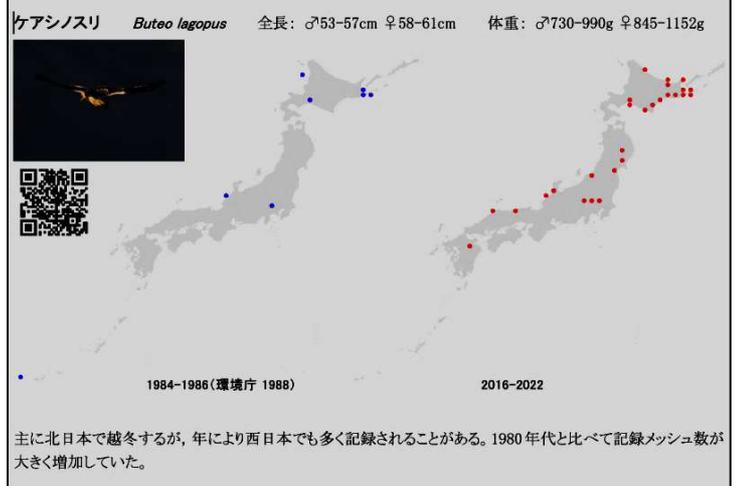
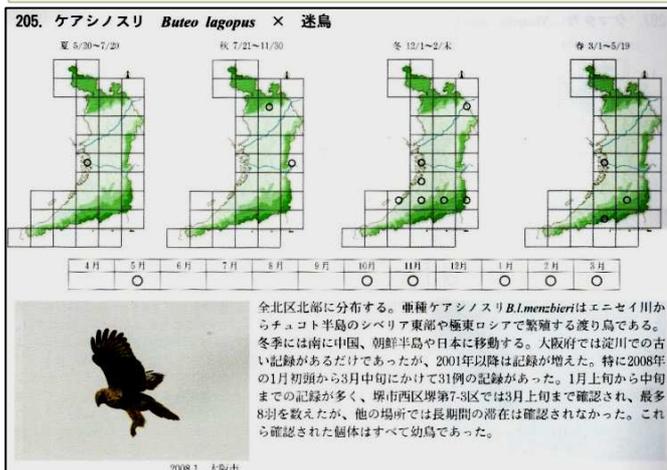
I-②交野市などでのケアシノスリの記録

友田武氏は2008年より、交野野鳥の会会員による交野市内での野鳥の観察記録を集約されているが、**ケアシノスリは2020年3月に1回観察されているのみである。**

また、2000年からスタートしたほしだ園地・くろんど園地探鳥会でも観察したことが無く、平が担当している1985年から40年になる万博公園探鳥会や、2012年から12年になる淀川枚方探鳥会でも観察していない。

I-③大阪府鳥類目録2016 ケアシノスリ ↓

大阪府内では単発的ですくない。河川敷などの草原や農地で、ほしだ園地のような山地に定着していることはない。



I-④全国越冬鳥類分布調査図 ケアシノスリ ↑

1980年代に比べ2010年代に増加している。しかし日本国内全体でも単発的で、観察記録は多くない。

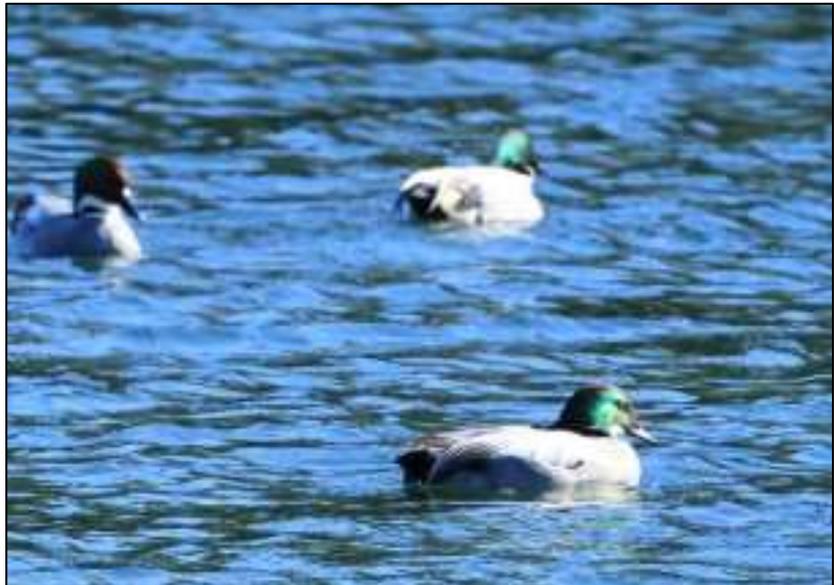
IV 先月 12月 くろんど園地探鳥会結果

集合地点の私市駅前でイソヒヨドリ・ムクドリを見てスタート、月の輪滝の下で小鳥が2羽地面におり、アオジと
思ったがソウシチョウで綺麗な姿を見せてくれた。上りのハイキング道〜くろんど園地に入っても鳥は少なくハ
シブトガラス・ヒヨドリ・アオジのみが目立った。貯水ダム周辺のオオバヤシャブシに来るはずのマヒワ・アトリを
待つも全く気配なかったが、池面近くの枝にカワセミが出てくれた。園地内に鳥が少ないことから昼食後くろん
ど池(奈良県側)に往復し、くろんど池ではヨシガモ(48羽)、オオバン(24羽)、ヒドリガモ(5羽)、カイツブリ(1
羽)、行き帰りの林でジョウビタキ・ヤマガラ・アオジ・シロハラなどを確認した。帰り道、傍系集落の里地でツグ
ミ・ホオジロなどを期待したがでないまま、トータル28種で終了した。



(写真 渡邊信義氏)

↑上左〜↓下左 時計回りに
ソウシチョウ
イソヒヨドリ
ジョウビタキ
ヨシガモ
シロハラ



V 次回探鳥会 2025/2/22 くろんど園地探鳥会 9:30私市駅前

今月と同じように、大阪支部HPのホームズ様式からお申し込みください。
くろんど園地・ほしだ園地探鳥会は2000年1月のくろんど園地からスタートしました。

当初、奇数月はくろんど園地、偶数月はほしだ園地で開催していたが、

- ①ほしだ園地でハヤブサが繁殖・子育てをするようになり、ハヤブサの幼鳥を見たいことから、
5月探鳥会(奇数月)はほしだ園地で開催したいこと、
- ②くろんど園地のカラスザンショウにくるムギマキを見たいことから、10月探鳥会(偶数月)は
くろんど園地で開催したいこともあり、

奇数月はほしだ園地、偶数月はくろんど園地に変更して開催しています。

**2月くろんど園地では、ミヤマホオジロなどの小鳥を期待し、12月と同様、くろんど池(奈良県側)に足
を延ばすことにしたいと思っています。**